

日本郵便の資本参加について

長距離列車「セゾン号」のご乗客の皆さま、いつも長期投資の旅を御一緒いただきありがとうございます。とうございます。

「セゾン号」は2007年3月に出発以来7年半が経過しましたが、おかげさまでリーマンショックはじめ暫し続いた嵐を通り抜け、これまで皆さまからの力強い資金投入に支えられ、実に安定した資金流入とお客様の増加が続く軌道の中、2つのファンド共順調に育っております。

そうした7年半の「セゾン号」運行実績が評価されて、今般セゾン投信が日本郵便株式会社より新たに資本参加を受けることとなりました。

従前より全株式を所有している株式会社クレディセゾンに加え、発行株式の40%に相当する第三者割当増資を日本郵便が引き受けることによって、今後のセゾン投信は2社の株主構成となります。

何より今回の資本参加は、セゾン投信が創業以来長期投資の実践を大前提に、販売会社を通さずにダイレクトでお客様とつながることで、価値観と目標を共有して行く直販というスタイルを貫いて来た上での成果と共に、既存金融業界へのアンチテーゼを掲げ続ける立ち位置をも含めての、日本郵便からの当社のビジネスモデルへの大いなる評価に裏打ちされてのものであります。

従って日本郵便は同社での販売を求めることも、手数料収入を期待することもなく、当社に対し引き続き直販にこだわって、2つのファンドを文字通り日本を代表する本格的長期投資ファンドとして成就させることを望んでおり、その道筋をより早くより太くするための側面支援のコミットメントも得ております。

具体的には日本郵便が有する郵便局ネットワークを通じた地域コミュニティに対し、セゾン投信の魅力を伝える機会が得られることで、直販による長期投資に参加される生活者が劇的に拡大し、皆さまとの「セゾン号」の旅が一層安定するであろうことを、私も大いに期待しております。

まずは皆さまに最優先でお伝えすべきこととして、日本郵便が株主となって以後も、セゾン投信がずっと大事にしている企業理念、そして事業モデルは一切何も変わることなく、これまで通りの姿勢を貫いてまいりますことを固くお約束いたします。

引き続きセゾン投信をご愛顧くださいますよう、改めてどうぞよろしくお願いたします。

セゾン投信代表取締役社長
中野 晴啓